

令和5年度 幼保小連携推進地区活動報告

保育園と小学校をつなぐ表現・リズム運動遊び
～保育園から小学校へスムーズな接続に向けて～

日限山地区

日限山小学校

上永谷西保育園

令和5年度の活動目標

保育園と小学校をつなぐ表現・リズム運動遊び ～保育園から小学校へスムーズな接続に向けて～

○幼保小連携推進地区事業の初年度の目標としては、保育園から小学校へあがる子どもたちのハードルを少しでも下げて、スムーズに小学校生活に移行できるようにしようと考えました。

○昨年度は、造形遊びを通して1年生と年長児の交流を行いました。思いのままに、夢中になって造形遊びをする姿、用具の使い方を教え合う姿、優しく声をかけ合う姿などが成果として見られました。

○今年度は、体育科や音楽科などの身体表現、リズム運動など、体を使った表現活動を通して交流をしました。思いのままに表現活動をすることで、心を解放し、楽しく関わり合うことができるのではないかと考えました。

日限山小学校スタートカリキュラムについて①

① 朝の支度や給食の準備

自分の身支度を自分たちでできるようにするために視覚的な資料を掲示しました。



② 学校探検や名刺交換で学校のことを知る

「学校にはどんな教室があるのかな」「どんな先生がいるのかな」という子どもたちの問いから学校探検や名刺交換をしました。

○「学校にはどんな教室があるのかな」→わからないことは2年生に聞いてみよう→「こんな教室でこんな物を見つけたよ」クラスの友達に発表

○「どんな先生がいるのかな」→「名刺交換をしよう」→「がっこうずかん」を作ろう



③ 徐々に学校生活に慣れていけるように

なかよしタイム(クラスでの遊びを通して、友達の名前を知る時間など)

わくわくタイム(学年での遊びを通して、遊びを見つけたり、春の物を探したりする時間)

ぐんぐんタイム(読み聞かせや算数など学習をする時間)

※日限山小学校では、上記のように3つの学びの時間帯を整理しなおしている。



日限山小学校スタートカリキュラムについて②

④朝の「わくわくタイム」

朝、自分の支度が終わったら、外や生活科ルームで遊ぶ時間を作りました。この時間に友達をついたり、入学の緊張感がほぐれたりする時間になりました。



⑤6年生との交流

4～5月は6年生が朝の支度や給食の支度など手伝いに来てくれました。なんでもやってもらうのではなく、困っていることを伝えてから手伝ってもらうよう指導しました。



わくわくタイムのときに

一昨年、保育士さんに伺って購入したピタゴラスやラキューと一緒に遊びました。大きなジョイントマットを購入して、マットの上で本を読んだりプラスチックカップを積んだりして遊びました。校庭では、大型遊具やパカポコ、ボールなどを使ったり、おにごっこをしたりして体を動かして遊んでいます。



ピタゴラスでお城を作ろう

みんなでダンスをしよう



プラスチックカップを
たくさん積み上げよう

年長児と1年生の出会い

公園で出会った年長児と友達になったところから
交流をスタートしたかったものの、天候に恵まれず…

一緒に遊びたい!

今度、保育園の年長さんが、
小学校ってどんなところか
見にくるみたいだよ。

子どもたちの思いから交流がスタートすることになりました。

交流① リズム運動遊び

○保育園で普段行うリズム遊びを、体育館を使って全体で行いました。
「あひる」や「こうま」、「かめ→三輪車→金魚」、
「つばめ」など、音楽に合わせて
生き物やものになりきる活動を行いました。

保育園の時に
やったことがあるよ。



交流② リズム運動遊び

1年生7~8人と園児2人でグループを組んで遊びました。

小学生も園児も分かりやすいようにお花の名前をグループに付けて、年間を通してこのグループで活動するようにしました。

①グループでの自己紹介

②リズム運動遊び

お花グループではじめましての挨拶をしよう。



なべなべそこぬけを一緒にやろう。



交流③ ダンス交流

小学生が上永谷西保育園に行き、運動会で踊ったダンスをお互いに見合って、交流をしました。



1年生のバトンの演技は
かっこよかった。

年長さんのソーラン節は
6年生と同じ曲だ。

交流④ 秋のお店屋さんに向けて

どんぐり
おちば
まつぼっくり
たくさんみつけたよ

どんぐりこまを作りたい
まつぼっくりで
けんだまを作りたい

保育園のお友達も招待
して、一緒に遊びたい!!

一緒に秋祭りをしよう!

<小学校のめあて>

○秋の自然物を使ったおもちゃやゲームで楽しく遊ぶ活動を通して、交流を深める。

<保育園のめあて>

○小学校でのお店屋さんごっこに楽しんで参加し、一年生と関わりをたくさんもつ。
○交流を通して、小学生になることのイメージを具体的にもち、入学への期待をもつ。

学年みんなで、お店屋さんを作り準備をしました。

どんぐりとばし

どんぐりめいろ

あきのがっき

どんぐりこま

どんぐりレース

どんぐりつり

どんぐりずもう

どんぐりたまいれ

交流④ 秋のお店屋さん

保育園の友達を招待して、秋祭りをしました。

一緒に楽器を
演奏しよう。



ここが
スタートだよ。



好きなこまを
選んで
回してみてね。



こっちのゲームも
やってみてね。



交流⑤ 学習の発表

- 国語の学習「しらせたいな見せたいな」で学習したことを生かして、保育園の友達に小学校の学習を紹介しました。
- 入学前の自分たちを思い出し、保育園の友達に安心して小学校に入学してほしいという思いから交流をしました。
- お花のグループの中で教科等の担当を分けて、国語、算数、生活科、体育、図工、音楽、外国語、図書などの学習で使う道具や活動したことを発表しました。

職員の研修

- ・今年度は小学校の夏休み期間に、3日間に分かれて学校の職員が保育園を見学しました。
- ・園児の活動を実際に見学することで、一年生の児童がどのような経験を重ねて小学校に入学するのか、学ぶことができました。

令和5年度の交流を振り返って 成果と課題

<成果>

☆リズム運動遊びを通じた遊びの延長線上にある学習という捉え

リズムや音楽にのって体を動かすことを楽しみ、周りの友達と関わることができていました。保育園の友達も、保育園での遊びの延長線上に小学校の学習があることを体験できました。

☆コミュニケーション力の育成（年下の子との関わり方）

体を動かしながら表現活動する遊びを通して、あまり関わったことのない友達とも自然と会話をし、仲良くなることができました。校内では一番年下の一年生も、年下の子と関わることで、これまで小学校のたてわり活動などで親切にしてもらった経験から、声のかけ方や遊び方を考えて交流することができました。交流を継続していく中で、上永谷西保育園以外の園児と公園探検で出会った場面では、自分から声をかけて一緒に遊ぶ姿がありました。

☆育まれた相手意識

生活科の秋のお店屋さんの交流では、「保育園の友達に楽しんでもらうために、かんたんバージョンの迷路も作ろう。」「どんぐりをとばすスタートの場所を、近くか遠くか選べるようにしよう。」など、子どもが相手のことを考えて活動する姿が見られるようになりました。

令和5年度の交流を振り返って 成果と課題

<昨年度の課題を生かした成果>

☆2年生(昨年度1年生)と1年生(昨年度園児)の交流

昨年度、入学後の1年生(昨年度園児)と2年生(昨年度1年生)の交流が少なかったという課題があがりました。その課題を生かして、入学後の交流の機会を多く設けました。

- ・生活科「学校探検」
- ・たてわり
- ・運動会のブロック練習
- ・生活科「秋のお店屋さん」
- ・生活科「おもちゃランド」
- ・国語「お手紙」音読発表会

令和5年度の交流を振り返って 成果と課題

<課題>

☆子ども個人の繋がり

全体での活動が多かったため、小グループで一人ひとりが関わる機会は昨年度より少なくなりました。そのことによって、児童は「ぞうぐみさん」全体への思いは強くもっていたものの、個別に園児の名前を呼んで話す姿はなかなか見られませんでした。

児童に対して園児の数がかかなり少ないので、小グループを活用しても全員が個別に園児と関わる時間をとるのは難しい現状がありました。かといって、交流する園を増やすと連携をとるのが難しくなることが考えられます。小グループの活用や、児童と園児が名前を呼び合うような関係を築くことは来年度以降も考えていく課題であると言えます。